

寒くて厳しい冬は、多くのいきものたちにとってお休みの季節です。しかし、そんな冬の時期に発生して繁殖する「フユシャク」と呼ばれるシャクガ科に属する蛾のグループが存在します。



11月下旬 交尾中のクロスジフユエダシャク (左) オス (右) メス

フユシャクのココがおもしろい！

冬という変わった季節に活動するフユシャクには、変わった特徴がいくつかあります。

イチモジフユナミシャク



♂



♀

チャバネフユエダシャク



はね 翅がある



はね 翅がない・小さい

メスは飛べない代わりに、おしりから性フェロモンを出してオスを呼びます。そしてメスは、歩くのが速いです。

多くの他の蛾



こうふん 長い口吻

フユシャク



こうふん 口吻がない・小さい

成虫のときのエネルギーの多くは、幼虫のうちに体のなかにたくわえておいたものです。

謎が多いフユシャク

このような不思議な特徴は、フユシャクが冬という季節に適応しながら進化してきた結果と考えられています。はっきりとした理由はわかりません。一体どうしてなのか…考えてみましょう！

おまけ フユシャクだけじゃない！晩秋・初冬の蛾たち フユシャク以外にも寒い時期に活動する蛾がいます。



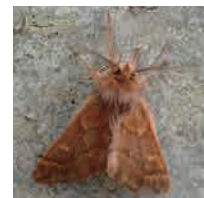
ケンモンミドリキリガ



カバエダシャク



ウスズミカレハ



クシヒゲシャクホコ